

たかはま てらす

高濱 照 先生 (九州中央リハビリテーション学院 理学療法学科長)



【学歴】

昭和 57 年 4 月 西日本リハビリテーション学院 入学

昭和 60 年 3 月 西日本リハビリテーション学院 卒業

【職歴】

昭和 60 年 4 月 信原病院 就職

昭和 63 年 3 月 信原病院 退職

昭和 63 年 4 月 西日本リハビリテーション学院 就職

平成 18 年 3 月 西日本リハビリテーション学院 退職

平成 18 年 4 月 九州中央リハビリテーション学院 就職 現在に至る

【業績 (学会)】

<平成 14 年>

- ・疼痛性肩制動症に対する理学療法. 第 51 回東日本整形災害外科学会, ホテルハマツ, 郡山市, 福島県, 10 月, 2002
- ・肩の機能解剖と触診のポイント. 第 37 回日本理学療法士協会全国研修会, 山形国際交流プラザ, 山形県, 10 月, 2002

<平成 15 年>

- ・肩の自由挙上と肩甲骨面挙上の関係. 第 38 回日本理学療法士学会大会, 長野市, 5 月, 2003
- ・内野手の投球時痛に対する徒手療法. 第 52 回東日本整形災害外科学会, 京王プラザホテル, 東京, 9 月, 2003

<平成 16 年>

- ・2nd 外旋における関節内衝突と投球時痛との関係. 第 39 回日本理学療法士学会大会, 仙台市, 5 月, 2004

<平成 17 年>

- ・肩関節の機能的回旋軸について. 第 40 回日本理学療法士学会大会, 大阪市, 5 月, 2005

<平成 18 年>

・投球及び類似動作における肩痛の治療―棘上筋上縁の触診と治療―. 第41回日本理学療法士学会大会, 前橋市, 群馬県, 5月, 2006

<平成19年>

・野球経験者における肩の外旋拡大と内旋制限の因子について. 第42回日本理学療法学会大会, 朱鷺メッセ, 新潟市, 5月, 2007

<平成20年>

・他動的ゼロポジションの探索. 第43回日本理学療法学会大会, 福岡市, 5月, 2008

<平成21年>

・肩関節水平内転における小結節の臼蓋進入について. 第44回日本理学療法学会大会, 東京国際フォーラム, 東京都, 5月, 2009

<平成22年>

・最大外旋時の小円筋の形態変化とテニスサーブにおける小円筋活動について. 第45回日本理学療法学会大会, 岐阜市, 5月, 2010

<平成23年>

・晒し骨の上腕骨後捻角は左の方が大きい. 第46回日本理学療法学会大会, 宮崎市, 5月, 2011

・学会長: 第1回アジア肩肘セラピスト学会, 那覇市, かりゆしアーバンリゾート那覇, 7月, 2011

<平成24年>

・肩関節疾患の理学療法～機能解剖と臨床応用～. 鹿児島市民文化ホール, 鹿児島市, 10月5日, 2012

【業績 (学術講演)】

<平成15年>

・肩関節の解剖と肩拘縮の治療, 第12回骨・関節系専門領域研究部会. 日本医療福祉専門学校 珪山ホール, 名古屋市, 愛知県, 7月13日, 2003

<平成16年>

・肩の機能解剖と臨床応用. 日本理学療法士協会一骨・関節系理学療法研究部会研修会, 宮崎市, 7月4日, 2004

<平成17年>

・肩関節の機能的回旋軸および投球時痛の治療について. 第2回肩の運動機能研究会, 東京ベイホテル東急, 浦安市, 千葉県, 9月2日, 2005

<平成18年>

・肩周囲筋の筋電図学的評価. 北九州肩関節研究会, 東京第一ホテル, 小倉区, 北九州市, 4月14日, 2006

・インピンジメントについての解剖学的知見. 第1回日本肩関節理学療法研究会, 東京衛生学園, 東京, 5月28日, 2006

<平成19年>

・臨床で知っておきたい機能解剖. 第2回日本肩関節理学療法研究会, 昭和大学旗の台キャンパス上条講堂, 東京都, 5月, 2007

- ・肩の機能解剖・治療展開. 第17回福岡県理学療法士学会, ピーポート甘木, 朝倉市, 福岡県, 2月, 2008

<平成20年>

- ・肩関節不安定症の症状について. 第3回日本肩関節理学療法研究会, 帝京平成大学専門学校, 千葉市, 7月27日, 2008
- ・肩の理学療法. 第10回福岡肩・膝リハビリ研究会, 福岡市, 9月, 2008
- ・腱板および肩甲胸郭関節の機能, 体幹から上肢の運動連鎖などに着目した解剖学. 第5回肩の運動機能研究会, 大阪国際会議場, 大阪市, 2008

<平成21年>

- ・三角筋の構造. 第4回日本肩関節理学療法研究会, 帝京平成大学専門学校, 千葉市, 7月25, 26日, 2009
- ・肩関節可動域制限の理学療法およびテニスの打撃における運動連鎖について. 第14回北九州肩関節研究会教育講演会, 西日本総合展示場新館会議室, 北九州市, 福岡県, 7月24日, 2009
- ・理学療法評価・治療の解剖学的再考. 第44回日本理学療法士協会全国学術研修大会, 四日市市, 三重県, 10月3日, 2009

<平成22年>

- ・肩関節の機能解剖と臨床. senstyle 主催研修会, 福岡市立少年科学文化会館, 福岡市, 7月4日, 2010
- ・肩関節の機能解剖と理学療法. 大分県理学療法士協会第59回研修会, 臼杵市医師会立コスモス病院, 臼杵市, 大分県, 8月1日, 2010
- ・肩関節の基礎と臨床. senstyle 主催研修会, 福岡市立少年科学文化会館, 福岡市, 9月11日, 2010

<平成23年>

- ・肩関節の機能解剖と臨床応用の考え方. senstyle 主催研修会, 福岡市立少年科学文化会館, 福岡市, 10月15日, 2011
- ・リハビリテーションのための肩関節の機能解剖最前線. リハステージ主催研修会, 大阪産業創造館, 大阪市, 10月16日, 2011
- ・肩の運動療法・再考. 臨床理学療法研究会, 滋賀医療専門学校, 東近江市, 滋賀県, 11月5, 6日, 2011

<平成24年>

- ・遺体解剖から得られた肩関節の知見と臨床応用. 広島市, 3月31日~4月1日, 2012
- ・肩関節~局所から診直す~. 郡山市, 福島県, 4月23, 24日, 2012
- ・教育講演「機能解剖」. 帝京平成大学幕張キャンパス, 千葉市, 7月28日, 2012
- ・肩関節の機能解剖と理学療法. 横浜市教育会館, 横浜市, 9月2日, 2012
- ・肩関節の臨床と治療方法について~機能解剖を中心に肩関節の真実を見極める~. 大阪市, 11月23日, 2012

<平成2年~24年>

- ・肩の解剖学と運動学, 日本理学療法士協会現職者講習会一肩関節の理学療法. 信原病院, 龍野市, 兵庫県, 11月

【業績（執筆：学術雑誌）】

<平成 15 年>

- ・理学療法と基礎医学の接点―肩の構造・機能の研究と理学療法一. 理学療法 20 (7) :763-769, 2003
- ・肩の機能解剖と触診のポイント. 理学療法学, 30 (4) : 210-213, 2003

<平成 16 年>

- ・運動器の機能解剖 肩関節 1. 理学療法 21 (2) : 340-344, 2004
- ・運動器の機能解剖 肩関節 2. 理学療法 21 (3) : 452-455, 2004
- ・運動器の機能解剖 肩関節 3. 理学療法 21 (4) : 572-576, 2004
- ・運動器の機能解剖 肩関節 4. 理学療法 21 (5) : 684-687, 2004
- ・運動器の機能解剖 肩関節 6. 理学療法 21 (7) : 900-903, 2004
- ・運動器の機能解剖 肩関節 8. 理学療法 21 (9) : 1120-1123, 2004
- ・運動器の機能解剖 肩関節 9. 理学療法 21 (10) : 1224-1228, 2004
- ・運動器の機能解剖 肩関節 10. 理学療法 21 (11) : 1328-1331, 2004
- ・運動器の機能解剖 肩関節 12. 理学療法 22 (2) : 342-346, 2005

<平成 18 年>

- ・肩関節の機能解剖とバイオメカニクス. 理学療法 23 (12) : 1581-1589, 2006

<平成 19 年>

- ・肩の機能解剖・治療展開. 理学療法福岡 21 : 18-24,2008

<平成 21 年>

- ・肩関節の運動学―講座「関節病態運動学」. 理学療法 26(4):530-536,2009

<平成 22 年>

- ・関節病態の評価に不可欠な動的解剖。理学療法学 37 (4) : 266-270、2010

【業績（執筆：分担執筆）】

<平成 15 年>

- ・肩関節拘縮. 骨・関節系理学療法クイックリファレンス (岡西哲夫・他編). 文光堂, 2003

<平成 17 年>

- ・肩関節周囲炎. ケースで学ぶ理学療法臨床思考 (嶋田智明編), 文光堂, 2005

<平成 18 年>

- ・理学療法学事典 (内山 靖編) .医学書院, 2006

<平成 19 年>

- ・肩関節とその周辺―運動器疾患の理学療法. 神陵文庫, pp9-35,3月, 2008

<平成 21 年>

- ・腱板の解剖と機能, 鎖骨の動き―肩関節運動機能障害. 実践 MOOK 理学療法プラクティス, 文光堂, pp137-138,169-170,5月, 2009

<平成 22 年>

- ・肩の構造と機能, 投球障害のリハビリテーションとリコンディショニング―リスクマネジメントに基づいたアプローチ. 文光堂, 5月, 2010

<平成 23 年>

- ・筋骨格系理学療法を見直す. 文光堂, pp237-254, 10 月, 2011

【業績（賞罰）】

<平成 21 年>

- ・日本理学療法士協会 協会賞受賞 (東京国際フォーラム, 5 月)